

NPBへ、闘志むき出して挑むヒーローたち

昨年、ダントツの強さでリーグ優勝を果たした石狩レッドフェニックス。今シーズンは、個々のレベルアップはもちろん、新リーグ制覇に向け、さらなる飛躍を誓います。目指すは、NPBへの道！
ここでは、在籍2年目を迎えた7人の選手の“夢にかける強い思い”を紹介します。

野球教室で出会った少年の言葉を胸に頑張ります

二瓶駿哉 投手

北海道知内高等学校→函館大学→WEEDしらおい

一緒に戦ったチームメイトの多くがここを去りました。でも僕は、昨年の球団主催の野球教室で子どもたちに「次の試合、見に行きますね!」と言われたことを裏切りたくなくて、残ることを決意しました。昨年は防御率と奪三振はリーグで一番でしたので、今年は最多勝も視野に入れて頑張ります!

自慢のデカイ声で、積極的に声を出してチームに貢献したいです

齊藤悠佑 投手

日本ウェルネス高等学校→日本ウェルネススポーツ専門学校(中退)

昨年は、チーム事情によりキャッチャーをメインにやっていました。いろいろな投手の球を受けることはとても勉強になりました。今シーズンはその経験を生かし、チームで唯一の「変速サイドスロー」投手として、貢献したいです。

闘志むき出して投球します

森康典 投手

千葉県柏市立柏高等学校→ウイン北広島

昨年はチームが優勝し、個人でも最多勝をとることができました。調子が上がらない中、チームのみんなが助けてくれて、その中で一番いい結果が出てほっとしています。今シーズンも最多勝と開幕投手を、さらにはHFLでの優勝を目指して頑張ります。そして球場を満員にしたい! 引き続き地域貢献にも取り組みたいです。



すぐに肩をつくって、フル回転での活躍を誓います

山本信太郎 投手

専修大学附属高等学校→順天堂大学

昨年、ほかのチームに差をつけて優勝しましたが、僕自身はあまり思うようにいかないシーズンに。今年こそ、得意のカーブを磨いて、チームの勝利に貢献したいです。プライベートでは釣りが趣味。石狩は港も近いですし、地元からさおを持ってきたのでぜひ行ってみたいです。



スピードボールを武器に全力で投げます

佐々木諒太 投手

東陵高等学校(宮城県)

昨年は、優勝できて良かったのですが、個人としては課題が残りました。先発をまかされるもコントロールが定まらず、あまりリズムをつくれなかったので、今シーズンはそこを注意して、もっとレベルアップしたいです。

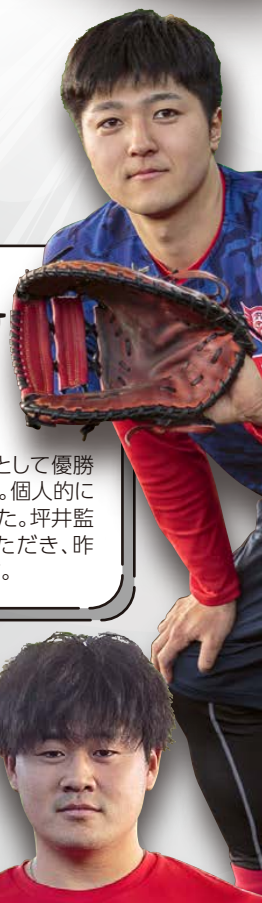
自分の持ち味であるスピードボールで、チームをリーグ優勝へと導ければ!

特大のアーチを放ってチームに勢いをつけたいです

中野友歌 内野手

岩手県立久慈高等学校→大月市立大月短期大学(山梨県)→TSUKUMOベースボールクラブ

今シーズンは坪井監督の指揮の下、チームとして優勝したいです。2年目の選手で野手は自分だけ。個人的にはバッティングをひと冬かけて鍛えてきました。坪井監督にバッティング、守備、走塁全て指導いただき、昨シーズンより上の成績を目指して頑張ります。



チームで力を合わせて坪井監督を独立リーグ日本一の監督に!

小林健吾 投手兼コーチ

旭川実業高等学校→道都大学(現星様道都大学)→ウイン北広島→北海道ベースボールアカデミー→Coomera Cubs(オーストラリア)→札幌ホーネッツ

僕はチーム内で最年長の30歳ですが、まだまだ若手の選手には負けていません! 坪井監督を独立リーグ日本一の監督にするためにも最善を尽くします。坪井監督、一緒に頑張りましょう!



2年目の7人が
チームを熱くします。